

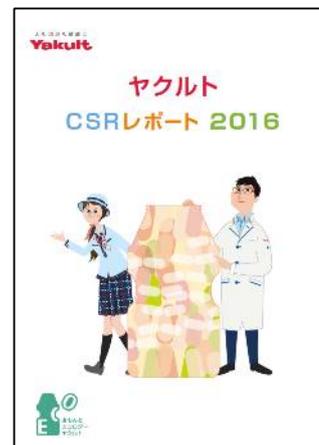
2017年2月23日

**「ヤクルトCSRレポート2016」が
「第20回環境コミュニケーション大賞」において
環境報告書部門「優良賞」を受賞**

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、ヤクルトグループの2015年度におけるCSR活動の実績や課題をまとめた年次報告書「ヤクルトCSRレポート2016」が、「第20回環境コミュニケーション大賞」（環境省および一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催）において、環境報告書部門「優良賞」を受賞しましたのでお知らせします。

これはヤクルトグループの「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念のもと、社会に貢献する姿勢や環境への積極的な取り組みが評価されたものです。

当社は、今回の受賞を励みに、より一層のCSR経営に積極的に取り組んでいきます。



【環境コミュニケーション大賞について】

優れた環境報告書等や環境活動レポート、およびテレビ環境CMを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

【ヤクルトCSRレポート2016について】

ヤクルトグループの2015年度におけるCSR活動の実績や課題をまとめた年次報告書です。当グループが重視している「健康」「地域社会」「環境」に関わる3つの特集記事や「ヤクルトCSR行動計画」の重要テーマなどを掲載しています。

（当社ホームページで公開しています。）

【受賞の理由について（抜粋）】

「ヤクルトCSRレポート2016」について以下の点が評価されました。

- ・自社が関連する社会課題として、「健康長寿」や「予防医学」を取り上げており、自社の社会的な役割を明確に打ち出している。
- ・環境の取り組みについて、製造拠点のみならず、販売会社、海外拠点を含めた数多くの拠点が外部認証を取得し、データも充実している。
- ・レポート全体から、自社の関わるステークホルダーへの気持ちが伝わり、自社の従業員全体への取り組みへ発展していることが感じられる。

以 上